

新坂元まちづくり協議会ニュース

1. これまでの新坂元まちづくり協議会

- 平成25年 1月 新坂元まちづくり協議会設立
- 3月 新市街地の「土地利用計画」について
第一次提言書に取りまとめ町へ提出
- 5月 坂元地区、仮設住宅の住民を対象に
第一次提言書の説明会を開催
- 6月 名取りんくうタウンへ視察
- 7月 町から第一次提言書に対する回答を頂き
緊急要望書を町へ提出

○新坂元まちづくり協議会は平成25年3月に設立されました。まちづくり協議会では新しくつくられる市街地を中心に坂元地区をより良いまちにしていくために、みんなで話し合いをしています。

↓仮設集会所にて第一次提言書の説明会



↓第一次提言書を副町長へ提出



↓名取りんくうタウン視察



↓協議会の様子



○今後の協議会の活動予定○

◆11月中旬
「町会議員さんとの懇談会」

◆11月下旬
新坂元まちづくり協議会
テーマ「まちなみづくり」

2. 協議会の活動報告 「10月11日 第二次提言書提出」

◆「公園・道路・駅前広場について提言」

○新市街地の顔となる新坂元駅の駅前広場や、まちの中心を通る道路緑道、みんなが使う公園のイメージについて検討を重ね、第2次提言書として取りまとめ町へ提出しました。

※提案内容については裏面の概要版に掲載



◆「地域の防災・安全対策についての要望」

○坂元地区は排水対策が課題であると認識し、かさ上げが行われる新市街地と既存市街地との間に高低差が生じる事から、水害の危険性があるのではないかと懸念し、水害に対する安全・安心な市街地のまちづくりについて要望しました。

3. 岩佐久男会長から一言



今自分に何ができるかを試す絶好の機会です。「まちづくりとは町民一人ひとりが主体となって築くもの」という意識のもと、一人でも多くの町民の方々が協議会に参加し、町にみなさんの声を届けて行きましょう。

会員募集!!

★申込みされた方には随時、協議会の案内・その他の活動についてお知らせを送らせて頂きます。

★会員申込みや協議会の活動へのお問い合わせはこちらへ!!

【発行】

山元町復興まちづくり協議会事務局
宮城大学地域連携センター
山元復興ステーション 担当：菊田
住所：山元町浅生原字日向13-1
TEL・FAX：0223-36-8507

第二次提言書

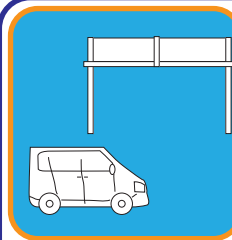
概要版

はじめに・・・

今回、提出する「復興まちづくり提言書」第二次提言書については、坂元地区の玄関口となるJR常磐線新坂元駅の駅前広場のイメージや、新市街地の幹線道路のイメージ、地域の子供からお年寄りが利用する公園のイメージを話し合いました。また、坂元地区の課題として地区の排水について、道合地区の土地利用計画、災害時の避難のありかたなどを話し合いました。新坂元まちづくり協議会は、一日も早い被災者の生活再建・住宅再建が私たちの一番の願いです。その基盤となる新市街地において、自分たちの思いが形になることは、住民と行政の協働によるまちづくりにむけた大きなきっかけとなることでしょう。

共通コンセプト

住民・行政の負担が軽減されるように、協働で管理を行い、住民に親しまれ、安全安心できる施設イメージ



駅前広場

昔なつかしい、ほっとする空気感、そして明るく開放的な空間

昔なつかしい、ほっとする空気感、そして明るく開放的な空間利便性の高い駅・駅前であり、明るく開放感をも備えた駅前広場整備を望みます。

四季の花が「花やかさ」をかもしだす、そんな通りにつづく「まち」

地区の顔としての潤いのある空間づくりのために、四季の花々が利用者の目を楽しませ、住民協働のシンボルとして管理に地区の力を活用するような、緑地空間の整備を望みます。



公園

常に新しい発見のある公園

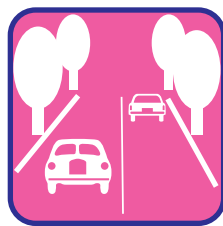
公園には植栽が施されますが、一部にはオーナー制度を導入して、植樹を確保していき、来たるたびに新しい発見につながり、公園利用のきっかけにもなることが期待されます。また、夏場に日陰を生み出すような樹種の選定や配置を行い、維持管理面にも配慮を願います。

坂元地区全体の交流の要となる公園

坂元地区全体にとって貴重な財産になると考えます。そのため、公共施設（支所機能）との一体的な土地利用により利便性を高めること等を提案します。



新しいまちへの4つの提言と要望



街路

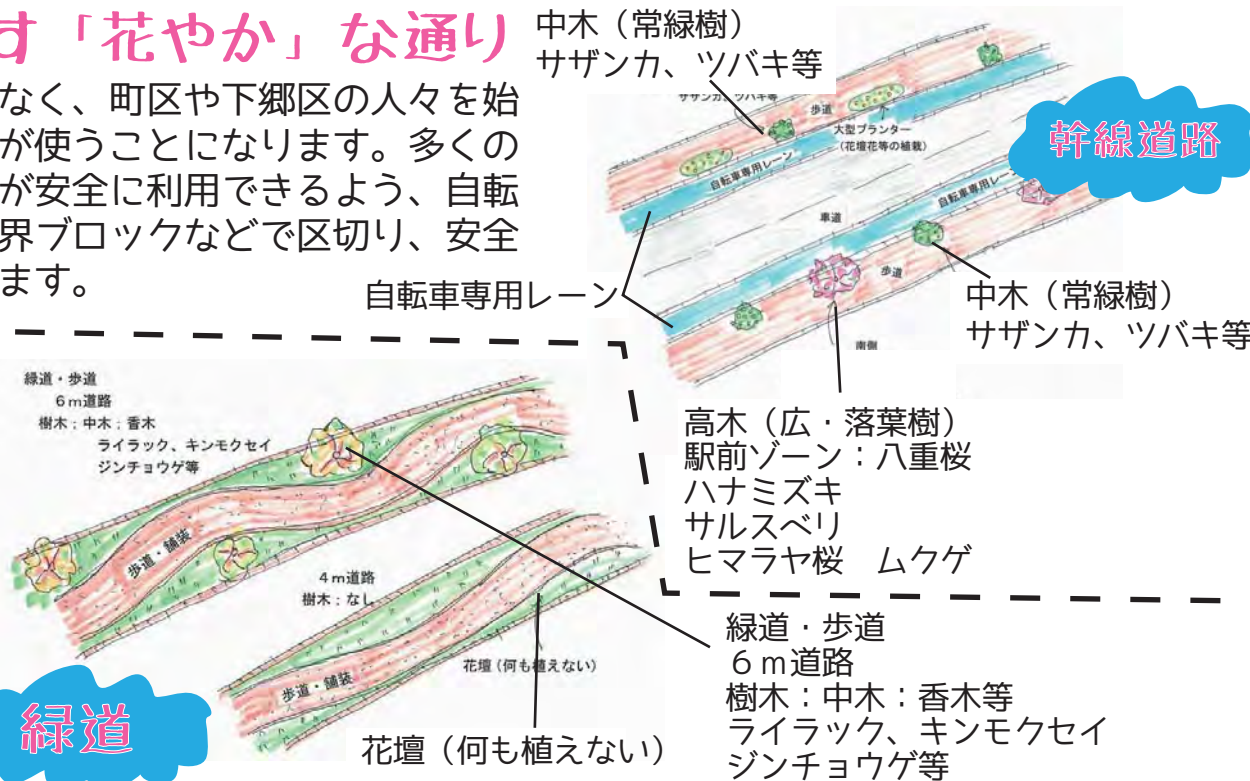
四季をかもしだす「花やか」な通り

利用者は新市街地だけでなく、町区や下郷区の人々を始め、坂元地区全体の人々が使うこととなります。多くの自動車・自転車・歩行者が安全に利用できるよう、自転車レーンと車道の間を境界ブロックなどで区切り、安全を確保することを提案します。

四季のある閑静な小路

幅が6mの緑道については、中木を左右交互に配置し、その樹木の周囲は緑化できるスペースが確保された姿を提案します。

幅が4mの緑道については、樹木は植えずに緑化スペースを配置し、将来の植栽選定に住民や管理者の意向が反映できることを望みます。



これからのまちづくりへの要望

排水対策について

今後は坂元地区全体の排水計画を立案し、重要度に応じて短期的に対策を実施するものや、将来的な整備を行うものなど、水害に関する安全・安心な市街地とするための計画的な整備推進を願います。

避難のありかたについて

既存の避難所への避難ルートが複数確保されること、避難路の整備が必要と考えます。現在地よりも海側に移転することとなるため、町区・下郷区住民の避難場所・避難ルート見直しと明確化することを望みます。